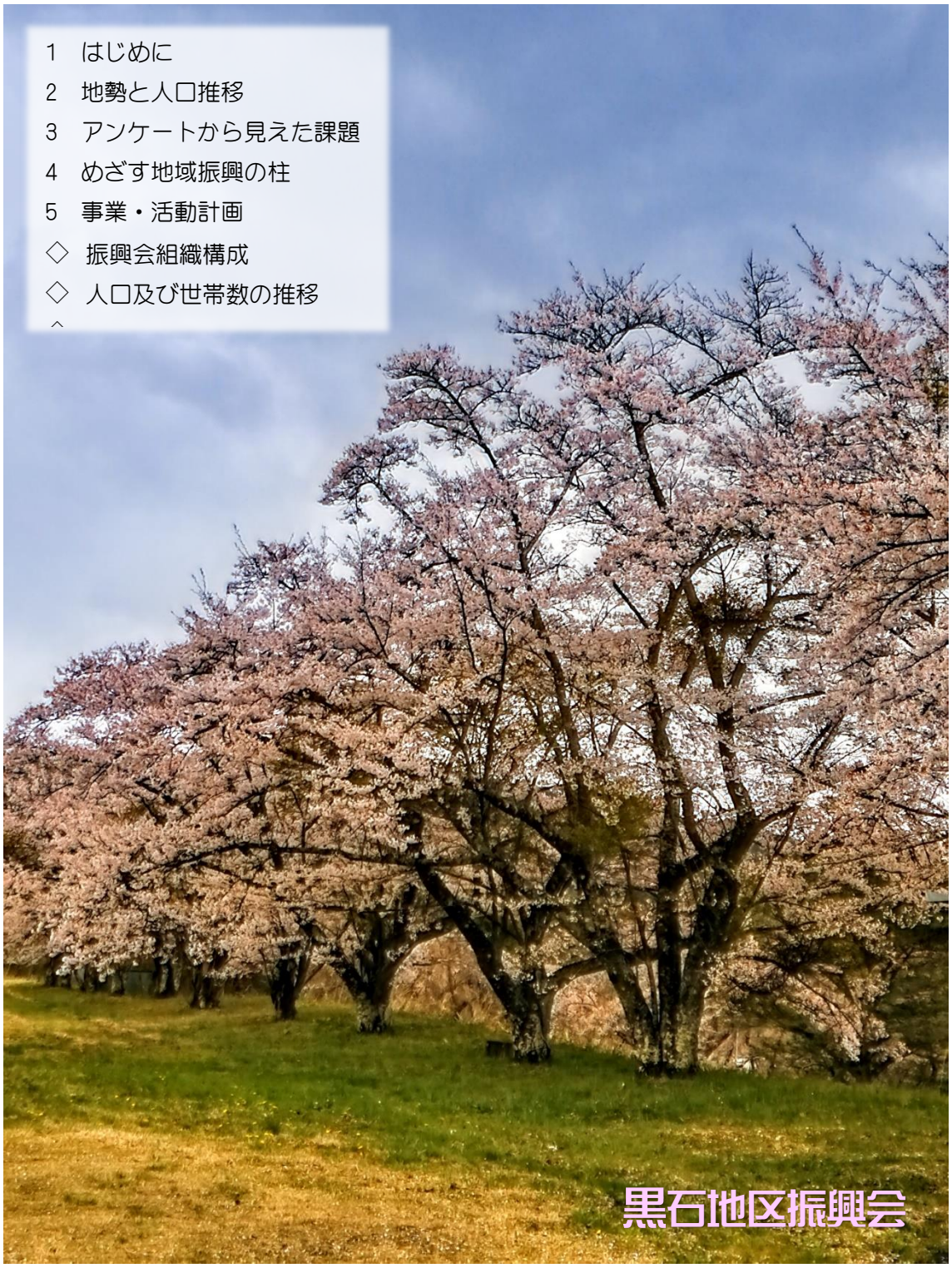
《第三次》

黒石地区コミュニティ計画書

令和４年(2022) ４月１日　～　令和９年(2027) ３月31日



1　はじめに
2　地勢と人口推移
3　アンケートから見えた課題
4　めざす地域振興の柱
5　事業・活動計画
◇　振興会組織構成
◇　人口及び世帯数の推移

黒石地区振興会

1　はじめに

「黒石地区コミュニティ計画」は、平成 15 年度に「第 1 次コミュニティ計画」が策定され、平成 29 年度には活動状況、地域情勢を考慮し「第 2 次コミュニティ計画」（5 か年計画）として内容が見直され、今日に至るまで黒石地区振興会の活動指針としての役割を担ってまいりました。

この度、「第 3 次コミュニティ計画」を新たに策定するにあたり、地域に居住する 18 歳以上（令和 3 年 1 月 1 日時点）の全住民を対象にアンケート調査を行い、その結果を基にこれまでの活動内容を振り返り、今後 5 年間の当地区コミュニティ活動の指針となる本計画書を策定いたしました。

地域コミュニティは、私たちが暮らして行く上で欠かすことのできない大切な仕組みです。そして、コミュニティ活動は、第 1 次計画に書かれているように「自分たちの地域のために自分たちができることを考え、取り組むこと」です。その活動に多くの皆さんが参加していただくことで、地域の連帯感が強化され、より暮らしやすい共同体としてのコミュニティ社会が育まれるものと思います。より多くの皆さんに主体的に黒石の地域づくり、地域のコミュニティ活動に参加していただけることをお願いいたします。

なお、本計画は令和 4 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日までの 5 ヵ年とします。

2　地勢と人口推移など

黒石地区は水沢の南東部に位置し、地域の西側は北上川東岸に接し、東側は大師森、大鉢森山につづく中山間地となっています。北上川に架かる藤橋のたもと・鶴城地区を扇の要に、国道 343 号、主要地方道一関北上線、県道田原折居線が広がり、三陸方面及び県南方面への交通の要所となっており、年々通行量が増加の傾向にあります。

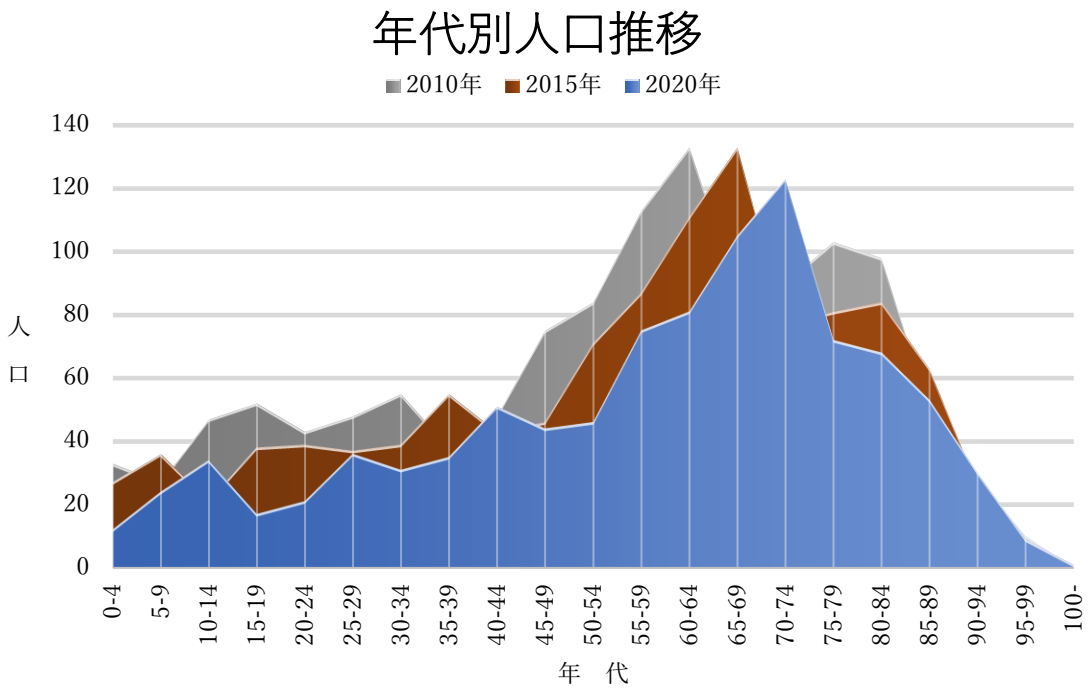
地域の主要産業は、河川沿い及び中山間地域に広がる稲作農業ですが、担い手不足、農家戸数の減少が顕著に見られます。国の進める中山間地域に対する支援事業を活用して生産活動の継続、耕作地・景観の維持に努める組織的な活動も行われていますが、若年から中高年層に至る労働力の多くは地域外に職場を求めているのが実情です。

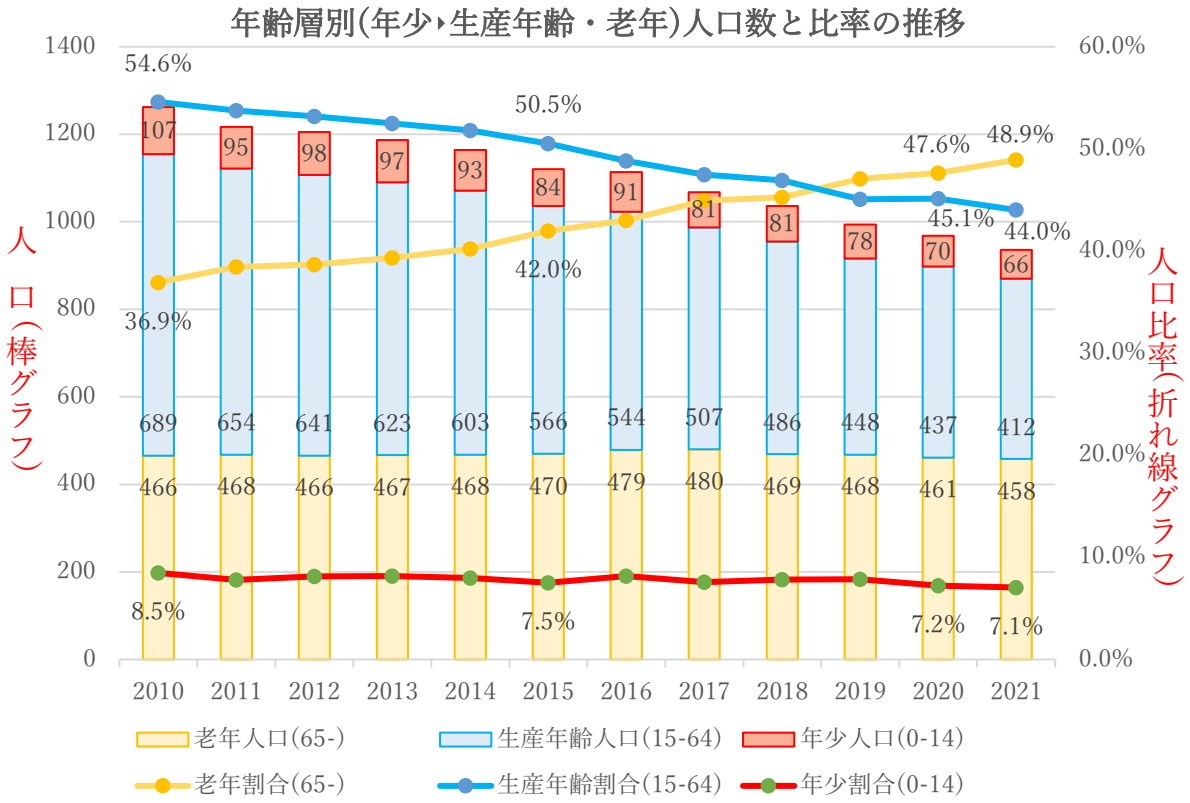
2020 年の人口構成を 2010 年と比較すると 2010 年の総人口 1262 人に対し 294 人減の 968 人(△23%)。年齢層別では、年少（0-14 歳）は 37 人減、老年(65 歳以上)は 5 人減に対し、生産年齢（15-64 歳）人口が 252 人減と減少数の大半を占めています。高齢化率が上昇し、人口減少が続いている状態です。（次ページ・グラフ参照）

また、地球規模の問題ですが、昨今の急激な豪雨、高温、寒波など異常気象による災害の発生、ウイルスによる感染症など様々な不安要因が増し、個人の努力だけでは危機管理、体調管理も困難になっております。地域住民が安全安心な日々を過ごすため、地域ぐるみの防災活動、共助のコミュニティづくりがますます必要となって来ているように思われます。

人生 100 年時代を迎え、いかに健康を維持しながら楽しい生活を続けることができるか、個人のみならず地域ぐるみで考えることが、喫緊の時代要請であり課題と感じます。

段階の世代(70-74 歳)を頂きとする大きな山が⇒へ移動、後には低い山々





0-14, 15-64 歳の人口は減少、65 歳以上の人口は安定、上がる高齢化率
(棒グラフ) (折線グラフ)

3　アンケート結果から

・多くの高齢者が、公共交通の減便などにより日常生活に不便、不安を感じていること。
・高齢者世帯、一人暮らし世帯が好むと好まざるにかかわらず増加していること
・災害発生時にどのような対応をとればよいか、多くの人が不安を抱いていること。一方で、災害に対する個人の備えは脆弱で、地域での防災訓練などもあまり実施されていない現状。
・歩道のない通学路、危険な交差点、水害で通行不能となる生活道路など、日常生活で危険と隣り合わせの市道・県道が身近にあること。
・地域の自然を生かした活性化事業への強い渇望はあるものの、具体的な対策に至れないままでいること。
・見慣れない人間の徘徊、電話による勧誘など日常に防犯上の不安が増えていること。
・相変わらず不法投棄がなくならないこと。
・多くの人が地区センターにトレーニング設備を要望（健康志向）していること。
・コンビニがない、バスも来ないで不便と言う人、豊かな自然があると言う人あり。
・少子化と人口減少、高齢化、担い手不足、耕作放棄地の増加、空き家の増加、農作物への獣被害の増加と言った改善の兆しの見えない状況。

4　地域がめざすコミュニティの姿と活動プラン

-1　めざすコミュニティの姿

♣ あふれる自然とともに、ゆったりとしたスローライフを楽しむコミュニティ
♥ 子供も大人も皆が生き生きと笑顔あふれるスマイルライフを楽しむコミュニティ
♦ 防犯、防災、交通の安心安全で快適なセイフティライフを楽しむコミュニティ
♠ 地域で相談、地域で計画、地域で実行・解決、オール黒石でつくるコミュニティ

-2　地域振興の柱

1[安全安心]　交通安全、防犯、防火・防災活動など安心安全な地域づくりによる振興
2[地域福祉]　高齢者世帯をはじめ様々な生活課題を抱える人を支援することによる振興
3[子供育成]　のびのびと健やかに、地域に愛着をもつ子どもの育成による振興
4[健康親睦]　スポーツによる健康維持・増進、住民参加の催事の実施による振興
5[生涯学習]　地域の歴史遺産を学び・伝承し、好奇心を誘う様々な学習活動による振興
6[環境保全]　の―ポイ環境美化活動、ふるさとの自然景観の保全整備活動による振興
7[住民自治]　住民自身の手によって主体的にまちづくりを行うことによる振興
地域へ情報発信、地域要望を行政に届け問題解決に取組む事による振興

5　専門部会

❶地域振興部会

◎基本方針：地域づくりの要として、各専門部会と連携、協調しながら地域の諸問題の解決、情報発信、新規事業提案、伝統文化の伝承保存等に努める。また、各部に属さない活動への対応をする。

	主な行事、事業名	内容	担当	対象
1	地域文化事業	黒石地区の歴史、名所旧跡、自然等についての知識を深め、伝承、地域ＰＲ、地域活性化につなげるため、座学、探訪等の活動に取組む *「東街道を歩こう」・・・各地の東街道を探訪する旅	地域振興部会	地区民全般
2	生涯学習事業	知識や技能の習得、健康で生きがいのある生活を送るための学習機会を提供する。 *各種講座の企画、実施	地域振興部会	地区民全般
3	ふるさと名所旧跡整備活動	地区内の名所旧跡の草刈り、刈り払いを実施し、環境整備と保存意識の高揚	地域振興部会	地区民全般
4	黒石地区新年交賀会	新年の希望を語り合い住民の交流を深める	地域振興部会	地区民全般
5	黒石地区歓送迎会	地区内各機関、施設の異動職員を囲んで地域住民との交流を深める	地域振興部会	地区民全般
6	黒石まつり	各部会、各団体と協力し住民の文化活動の発表と相互の交流を図る	実行委員会	地区民全般
7	地区要望行政ヒアリング	道路改善、環境整備等の地域の声を集約し、行政に要望する *北上川の無堤防箇所への築堤要望 *主要地方道一関北上線の線形改良要望	地域振興部会	地区民全般
8	施設設備整備事業	地域振興に要する施設設備の整備	各地区施設長	地区施設
9	協働のまちづくり事業の推進	地域の将来に必要な事業を募り、具体化し実施する	地域振興部会	地区民全般
10	不法投棄の防止	廃棄物不法投棄監視員と連携し、不法投棄防止の啓発等に取組む(地区の不法投棄の状況を広報に掲載する、看板を設置する等)	各行政区	地区民全般
11	地域住民への情報発信	行事予定、地域情報の発信をする。広報紙「じゃもんがん」の定期発行。	地区センター	全世帯
12	ボランティア活動の案内	地域でできる活動、得られるサービスに関する情報を広報等で提供する	地区センター	全世帯
13	地区内交通創設への対応	公共交通の減少により移動手段のない高齢者のための支援	地域振興部会	高齢者

❷福祉安全部会

◎基本方針：地域の安全安心のため、水沢地方交通安全協会黒石分会、黒石町防犯協会、水沢地域福祉協議会黒石支部、奥州消防団第 10 分団との連携を図り、地域交通・生活安全活動の実施、地域福祉、防災に関する諸行事の取組、保健衛生・健康の維持増進のための活動推進に努める。

	主な行事、事業名	内容	担当	対象
1	防災のまちづくり	防災の啓発活動を行い防災意識の高揚を図る	消防団 地区防災組織	全世帯
		*火の用心の呼びかけ、防災訓練・研修の実施、避難場所の周知等		
		* 各地区の自主防災組織において、火災の初期消火訓練等を実施		
2	防犯のまちづくり	防犯の啓発活動を行い防犯意識の高揚を図る	防犯協会	全世帯
		*地域安全運動（通学路の見守り、防犯啓蒙活動、防犯教室の開催）		小学生・全般
		*のぼり旗の購入設置		地域全般
		*年末年始パトロール		鶴城商店街
3	交通安全のまちづくり	交通安全の啓発活動を行い交通安全意識の高揚を図る	交安協	全世帯
		*ドライバー、歩行者等への呼びかけ		地域全般
		*講習会の実施		地域全般
		*交差点、横断歩道での児童誘導、見守り		小学生
4	地域福祉ネットワーク活動	生活援護を要する人に対する日常生活の見守り、安否確認など近隣住民による支援	社福協支部 民児協	要支援生活者
5	地域福祉の充実を図る事業	健康・福祉に関する情報発信、講習会の実施。「すこやかネット黒石」の開催。		地域全般
6	敬老会	地区内の高齢者の長寿を祝う		対象高齢者

❸生涯学習部会

◎基本方針：黒石小学校区子供会育成会連合会、黒石体育会、黒石地区老人クラブ連絡協議会、黒石パークゴルフ倶楽部等と連携を図り、生涯学習活動、スポーツ活動を推進し、暮らしに学び・運動・ゆとりの提案に努める。

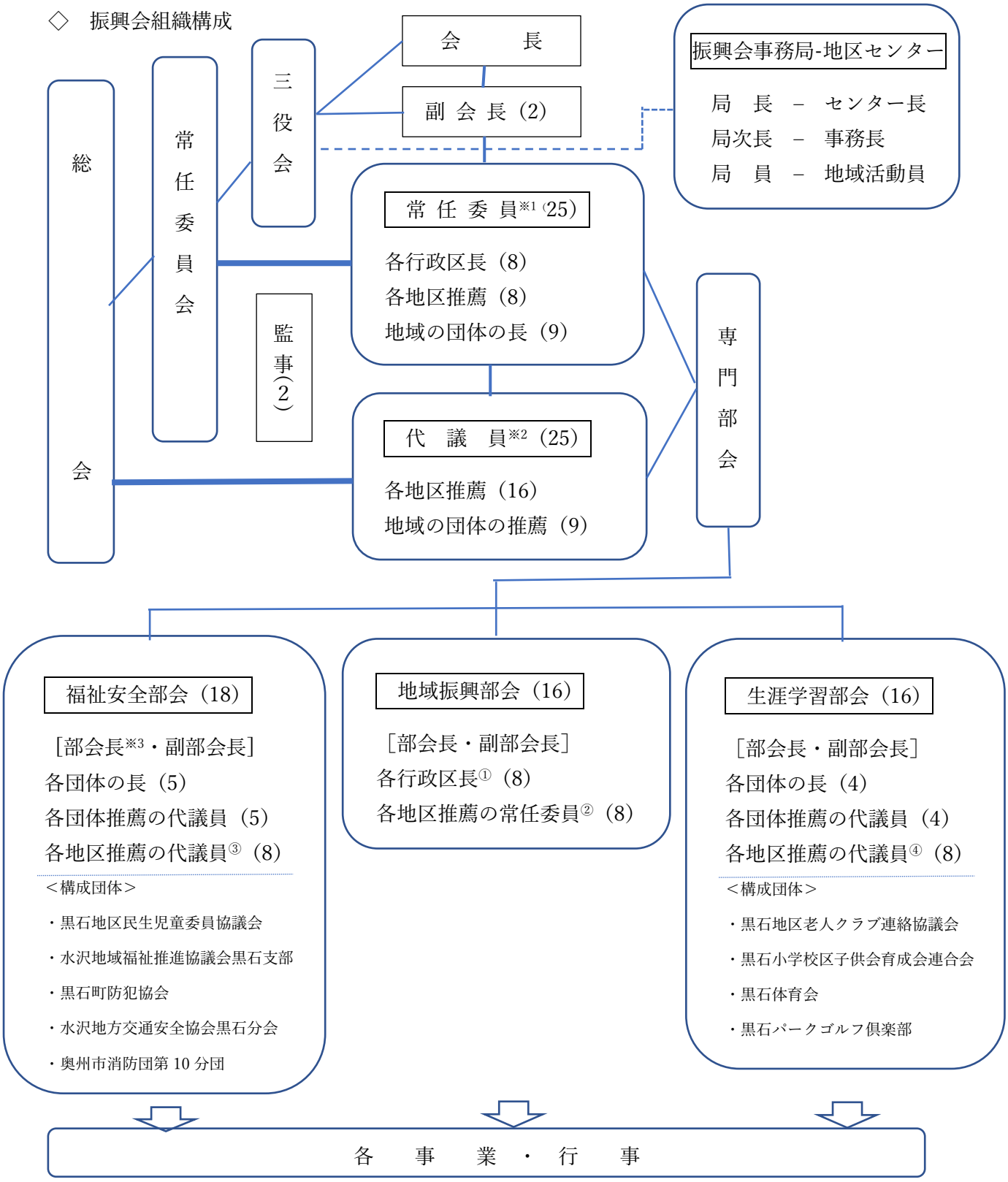
	主な行事、事業名	内容	担当	対象
1	黒石龍門大学の開設	健康で楽しく生きがいのある生活を送るための学習、運動、親睦の機会を提供	老ク連	地区高齢者
2	グラウンドゴルフクラブ定例会	健康維持と地域の高齢者の親睦を目的に毎週定期的に実施するクラブ活動。		
3	シニアスポーツ大会	地区高齢者の交流、運動を通じ健康維持を図る気運の醸成		
4	藤春院寺子屋	異世代交流を通じて礼儀作法や郷土理解を在学青少年の社会参加活動を図るとともに促進	子育連、寺子屋実行委員会	小中高生
5	花いっぱいコンクール	子ども会単位に子どもたちが花壇を整備し、地域の環境美化を図る	子育連	子供会
6	親子ジャンボかるた大会	子ども会単位に子どもたちがかるたを作り、親子でかるた取りを行う	子育連	児童、生徒とその保護者
7	地区市民大運動会	支部対抗、地区民総参加により地区民交流を図る	体育会	地区民全般
8	地区スポーツ大会	スポーツを通じて地区民の交流を図り、健康増進、スポーツに親しむ気運を醸成	体育会	地区民全般
9	ニュースポーツ講習会	健康保持、趣味活動として気軽に体を動かし楽しめるニュースポーツを紹介する	体育会、ｽﾎﾟｰﾂ推進委員	地区民全般
10	パークゴルフ場の整備と各種大会実施、支援	地区民がいつでも気軽に楽しめるコース整備。大会実施による競技人口の拡大、技術の向上、競技者の健康維持。地区内の各団体が主催して行う大会への支援。	PG クラブ	地区民全般
11	いわて奥州きらめきﾏﾗｿﾝの協賛	係員の派遣等、大会への協力を行う	体育会	

❹各地区・町内会等

◎基本方針：各行政区単位で取り組みをいただきたい事業。

	主な行事、事業名	内容	担当	対象
1	リサイクル推進	地域で資源ごみ分別への取り組みを広げ、省エネや CO2 削減、環境保全などへの喚起を促す	各地区	地区民全般
2	ごみ集積所清掃	ごみ収集所の清掃をするとともに、汚損防止のため集積箱や防鳥ネットの設置		
3	河川や道路周辺の草刈り等清掃	河川や道路周辺の草刈り等清掃。（安全に配慮した計画、作業内容で行う）		
4	環境美化活動	地域の花壇で花を育てる等により、美しいまちづくりに取組		
5	防災のまちづくり	防災の啓発活動を行い防災意識の高揚を図る。自主防災組織活動の推進。		
6	かぜの子学級	地区ごとに子どもたちの創作や小正月行事体験、高齢者との交流などを行い、地域の歴史や文化などの郷土理解を深める		

◇　振興会組織構成



※1 常任委員が会長、副会長に就任時は、その選出区分の常任委員は欠員とする(規約第6条2)。

※2 地域推薦の代議員が団体から重複して選考されることになる場合は、地域推薦を優先し、団体は代理者をもって充てる(規約第9条2)。

※3 専門部会の各部会長は常任委員から選出する(規約第10条)。

・図中、地区の常任委員①②、代議員③④の部会への配置は上図を基本とし各地区内で調整可。　( )内は人数。

資　料

◇人口及び世帯数の推移

奥州市は 2006(平成 18)年の合併時、人口 130,696 人。以後、世帯数は増加・人口減少・65 歳以上の高齢層が増加傾向。一方黒石地区は、全年齢層で人口の減少傾向。高齢化率（65 歳以上の人口比率）が 50%を超える地区も見られる。(奥州市「行政区別世帯数、人口及び 3 区分別人口」による)

年	黒石地区合計					
	世帯数	人口	0-14	15-64	65-	高齢化率
2021	356	936	66	412	458	49%
2020	366	968	70	437	461	48%
2019	370	994	78	448	468	47%
2018	372	1,036	81	486	469	45%
2017	373	1,068	81	507	480	45%
2016	379	1,114	91	544	479	43%
2015	381	1,120	84	566	470	42%
2014	382	1,164	93	603	468	40%
2013	380	1,187	97	623	467	39%
2012	389	1,205	98	641	466	39%
2011	392	1,217	95	654	468	38%
2010	392	1,262	107	689	466	37%
2009	390	1,287	107	714	466	36%
2008	392	1,338	117	738	483	36%

年	奥州市					
	世帯数	人口	0-14	15-64	65-	高齢化率
2021	46,076	113,458	11,891	60,538	41,029	36%
2020	45,803	114,876	12,302	61,581	40,993	36%
2019	45,550	116,321	12,583	62,957	40,781	35%
2018	45,139	117,545	12,992	63,995	40,558	35%
2017	45,035	119,115	13,329	65,539	40,247	34%
2016	44,855	120,328	13,674	66,873	39,781	33%
2015	44,539	121,427	13,974	68,023	39,430	32%
2014	44,291	122,645	14,328	69,496	38,821	32%
2013	44,049	123,863	14,718	70,958	38,187	31%
2012	43,867	124,914	15,059	72,325	37,530	30%
2011	43,539	125,623	15,360	73,306	36,957	29%
2010	43,332	126,567	15,540	74,379	36,648	29%
2009	43,172	127,737	16,007	74,901	36,829	29%
2008	43,147	128,814	16,360	75,816	36,638	28%

年	内堀					
	世帯数	人口	0-14	15-64	65-	高齢化率
2021	35	98	13	39	46	47%
2020	35	100	15	40	45	45%
2019	35	106	15	43	48	45%
2018	34	107	15	45	47	44%
2017	33	107	13	46	48	45%
2016	33	108	14	46	48	44%
2015	32	103	11	43	49	48%
2014	34	114	13	54	47	41%
2013	38	126	15	62	49	39%
2012	39	122	14	61	47	39%
2011	41	120	11	65	44	37%
2010	40	131	13	74	44	34%
2009	39	127	11	75	41	32%
2008	37	129	12	75	42	33%

鶴城					
世帯数	人口	0-14	15-64	65-	高齢化率
54	141	14	57	70	50%
54	144	13	59	72	50%
56	146	15	60	71	49%
59	152	13	69	70	46%
57	149	11	69	69	46%
57	154	14	68	72	47%
58	151	11	74	66	44%
59	156	12	76	68	44%
60	164	13	84	67	41%
61	170	12	88	70	41%
60	168	12	88	68	40%
60	172	13	91	68	40%
61	181	13	98	70	39%
63	191	14	101	76	40%

長根					
世帯数	人口	0-14	15-64	65-	高齢化率
40	94	3	44	47	50%
42	100	3	50	47	47%
42	107	5	50	52	49%
42	109	4	55	50	46%
43	114	5	56	53	46%
44	124	5	65	54	44%
45	126	4	65	57	45%
44	125	4	66	55	44%
42	129	7	68	54	42%
44	133	8	69	56	42%
44	134	8	71	55	41%
45	146	12	78	56	38%
46	150	12	82	56	37%
46	155	14	84	57	37%

平成 10 年 12 月刊の黒石史誌にこのような記載があります。「黒石地区の人口は、平成 10 年 5 月 31 日現在、1,622 人。世帯数は 401 戸である。昭和 35 年は、2,675 人であったのに比べれば、人口の減少が著しい」（第 1 章　位置及び地勢より）

年	下柳						二渡						正法寺					
	世帯数	人口	0-14	15-64	65-	高齢化率	世帯数	人口	0-14	15-64	65-	高齢化率	世帯数	人口	0-14	15-64	65-	高齢化率
2021	41	102	3	42	57	56%	79	238	23	112	103	43%	33	73	1	34	38	52%
2020	42	104	4	43	57	55%	83	248	24	123	101	41%	34	74	1	34	39	53%
2019	43	104	5	44	55	53%	81	246	26	122	98	40%	34	81	1	38	42	52%
2018	40	111	7	45	59	53%	83	259	27	135	97	37%	37	86	1	41	44	51%
2017	42	122	9	49	64	52%	82	261	24	139	98	38%	38	94	4	44	46	49%
2016	42	124	9	51	64	52%	82	265	24	145	96	36%	41	97	4	47	46	47%
2015	43	126	7	55	64	51%	84	269	23	152	94	35%	39	100	4	51	45	45%
2014	43	138	10	60	68	49%	84	280	27	159	94	34%	38	102	3	57	42	41%
2013	43	138	9	64	65	47%	80	278	24	156	98	35%	38	104	4	61	39	38%
2012	44	146	9	72	65	45%	80	277	23	156	98	35%	39	103	3	62	38	37%
2011	44	147	8	73	66	45%	81	286	21	159	106	37%	40	108	6	63	39	36%
2010	45	149	10	76	63	42%	80	294	21	170	103	35%	40	111	8	62	41	37%
2009	43	148	9	79	60	41%	80	296	23	169	104	35%	40	118	9	67	42	36%
2008	44	152	10	83	59	39%	84	301	25	171	105	35%	38	121	8	70	43	36%

年	小黒石						高清水					
	世帯数	人口	0-14	15-64	65-	高齢化率	世帯数	人口	0-14	15-64	65-	高齢化率
2021	31	85	5	37	43	51%	43	105	4	47	54	51%
2020	31	88	6	40	42	48%	45	110	4	48	58	53%
2019	33	90	6	40	44	49%	46	114	5	51	58	51%
2018	32	96	9	44	43	45%	45	116	5	52	59	51%
2017	33	101	10	47	44	44%	45	120	5	57	58	48%
2016	35	121	16	61	44	36%	45	121	5	61	55	45%
2015	35	122	17	65	40	33%	45	123	7	61	55	45%
2014	35	123	16	70	37	30%	45	126	8	61	57	45%
2013	35	117	14	66	37	32%	44	131	11	62	58	44%
2012	38	120	16	68	36	30%	44	134	13	65	56	42%
2011	38	117	14	69	34	29%	44	137	15	66	56	41%
2010	37	122	15	72	35	29%	45	137	15	66	56	41%
2009	37	125	15	74	36	29%	44	142	15	70	57	40%
2008	36	136	17	78	41	30%	44	153	17	76	60	39%

年	黒小児童数
2021	35
2020	35
2019	39
2018	43
2017	43
2016	32
2015	30
2014	32
2013	26
2012	28
2011	33
2010	44
2009	49
2008	54